

倫理審査申請書

令和6年 1月 5日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 豊嶋 弘一

所属 感染症内科

職名 医師



受付番号 E122023-105 (※事務局で記入)

所属長の印

1 審査対象 症例報告 (発表予定日) *発表予定日未定の場合は未定と記載
2 課題名 *未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 <i>Streptococcus lutetiensis</i> による化膿性脊椎炎/椎間板炎 (仮)
3 症例報告実施者 氏名: 豊嶋 弘一 所属: 感染症内科 職名: 医師
4 症例報告の概要 <i>Streptococcus lutetiensis</i> による化膿性脊椎炎/椎間板炎。過去にこの微生物による化膿性脊椎炎/椎間板炎の報告がないため、その同定・治療薬・治療期間決定に難渋した。
5 医療行為における医学倫理的配慮について (I～VIVは必ず記載のこと) I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護 ヘルシンキ宣言に基づき、患者の人権を擁護するとともに、個人情報保護法に基づき患者が特定されないように個人情報を取り扱う。 II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ※いずれかを○で囲んでください。 ○①オプトアウト ②書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。 ③その他 () III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性 症例報告であり、不利益並びに危険性は全くない。 IV 予測される医学上の貢献 <i>Streptococcus lutetiensis</i> による化膿性脊椎炎/椎間板炎の症例報告は今のところない。本症例を報告することで、その同定方法・最適治療薬の可能性・治療期間について他の臨床医の手助けになる可能性がある。 V その他(症例数等) *未定の場合は見込みを記入すること 症例数等: 1例

注意事項 審査対象となる症例報告原稿のコピーを添付して下さい。

倫理審査申請書

R6年1月9日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者

佐藤啓太



所属

外科

職名

医師

受付番号 FR2023-106 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象

症例報告

(発表予定日 未定) *発表予定日未定の場合は未定と記載

2 課題名

*未定の場合も「～(仮)」として記載ください。

Liver injury with extravasation from the extrahepatic collateral vessels only

3 症例報告実施者

氏名: 佐藤啓太 所属: 外科 職名: 医師

4 症例報告の概要

肝臓外傷

5 医療行為における医学倫理的配慮について (I～VIVは必ず記載のこと)

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

患者はIVR, CT画像の閲覧可能

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

※いずれかを○で囲んでください。

①オプトアウト

②書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。

③その他 ()

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

なし

IV 予測される医学上の貢献

論文発表

V その他 (症例数等) *未定の場合は見込みを記入すること

症例数等: 3

倫理審査申請書

26年1月9日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 佐藤啓太 (佐藤印)
所属 外科
職名 医師

受付番号 ER2023-107 (※事務局で記入)

所属長の印 (高橋二)

1 審査対象 症例報告 (発表予定日 未定) *発表予定日未定の場合は未定と記載
2 課題名 *未定の場合も「～(仮)」として記載ください。 Incidental discovery of complications of cryptorchidism during laparoscopic inguinal hernia surgery.
3 症例報告実施者 氏名: 佐藤啓太 所属: 外科 職名: 医師
4 症例報告の概要 症例報告 (2例)
5 医療行為における医学倫理的配慮について (I～VIVは必ず記載のこと)
I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護 匿名化された情報を使用
II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法 ※いずれかを○で囲んでください。 ①オプトアウト ②書面による同意 *同意書のひな型を添付ください。 ③その他 ()
III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性 なし
IV 予測される医学上の貢献 論文として報告
V その他 (症例数等) *未定の場合は見込みを記入すること 症例数等: 2

注意事項 審査対象となる症例報告原稿のコピーを添付して下さい。

別記第1号様式（第6条関係）

倫理審査申請書

2024年 / 月 / 12日提出

伊勢赤十字病院

倫理委員会倫理委員長 殿

申請者 浅沼里依子



所属 医療技術部臨床検査課

職名 臨床検査技師

受付番号 EP2023-110 (※事務局で記入)

所属長の印



1 審査対象

発表予定日 2024. 2. 10

2 課題名

房室ブロック患者における心房ペーシング率の検討

3 主任医療行為者名

氏名： 浅沼 里依子 所属：臨床検査課 職名：臨床検査技師

4 分担医療行為者名

氏名：市川真嗣 所属：臨床検査課
職名：臨床検査技師

5 医療行為等の概要

リードスペースメカが登場し、当院においても房室ブロック患者の植込みは増加傾向にあるが、設定出来るのはVDDモードのみである。今回、DDDペースメカ植込み患者の心房ペーシング率を測定し、その必要性を検討する。

6 医療行為等の対象及び実施場所

通常業務であるペースメカチェックで得られたデータを元に検討する。

注意事項 審査対象となる実施計画書又は出版公表原稿のコピーを添付して下さい。

7 医療行為における医学倫理的配慮について（I～Vは必ず記載のこと）

I 医療行為の対象となる個人の人権の擁護

患者の検査結果やカルテ内容は患者が特定出来ないよう十分に配慮して実施する。

II 医療行為の対象となる者に理解を求め同意を得る方法

① オプトアウト

III 医療行為により生じる個人への不利益並びに危険性

ペースメーカーチェックの後方視的研究のため個人への不利益は生じない。

IV 予測される医学上の貢献

リードレスペースメーカ植込みが急増している状況下で、心房ペーシングの必要性を再確認する。

V その他（研究期間、症例数等）

研究期間（調査期間）：2013年1月～2018年12月

症例数等：102例